



2022年 4月8日 金曜日
(令和4年)

知の技術創造

ものづくり大学発

▷77◁

新型コロナウイルス感染症でいく生活スタイルや社会経済の流行・拡大によって、世界経済構造に革新していくことが歴史的な危機に直面している。求められていくと考えられます。その影響は、人類の生命や生活はもとより、世界経済・政治・社会およびさまざまな人々の行動や考え、さまざまな方針「経済財政運営と改革の基本方針2020」で「時代

らには人との接し方まで多方面に波及し始めています。新型コロナウイルス感染症は、今も収束の兆しは見えておらず、対応は長期に及ぶと予想されています。もはやコロナ前の生活に戻ることは難しいとも言われており、今後は、新型コロナウイルスと共存し

スフォーメーション(DX) ト一体となった取の組みを強化に推進する」と明言しています。建設産業では少子・高齢化という構造問題を抱えており、その中でも生産性向上や担い手確保の一助として、建設産業のDXの推進が期待さ

政府は、社会資本整備にデジタル・スマート化を全面導き、その中でも生産性向上や担い手確保の一助として、建設産業のDXの推進が期待さ

政府は、社会資本整備にデジタル・スマート化を全面導き、その中でも生産性向上や担い手確保の一助として、建設産業のDXの推進が期待さ

三原 斉 建設学科教授

建設業界のデジタルシフト

れています。政府は、2020年7月の豪雨をはじめ、災害の激甚化や頻発化が今も継続しており、防災・減災を主軸として、デジタル化・スマート化を推進しています。すなわち、デジタル化・スマート化を推進し、国・自治体を防災・減災といった全ての政策に展開しようとしています。具体的には、情報通信技

れています。政府は、2020年7月の豪雨をはじめ、災害の激甚化や頻発化が今も継続しており、防災・減災を主軸として、デジタル化・スマート化を推進しています。すなわち、デジタル化・スマート化を推進し、国・自治体を防災・減災といった全ての政策に展開しようとしています。具体的には、情報通信技



みはら・ひとし 近畿大学卒業。工学院大学大学院博士課程修了。博士(工学)。1級建築士・1級建築施工管理技士。村本建設株式会社を経て2001年より現職。専門は、建築生産、建築構法、建築技術技能教育。

また、社会資本整備の大きな課題のインフラ老朽対策で、建設DXの基盤となるのも新技術やデータを積極的に活用することも考えています。さらに、予防保全の高度化や効率化に役立てて、メンテナン

また、社会資本整備の大きな課題のインフラ老朽対策で、建設DXの基盤となるのも新技術やデータを積極的に活用することも考えています。さらに、予防保全の高度化や効率化に役立てて、メンテナン